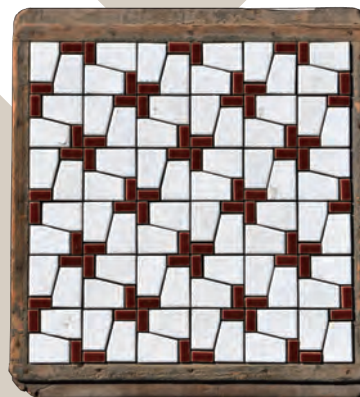
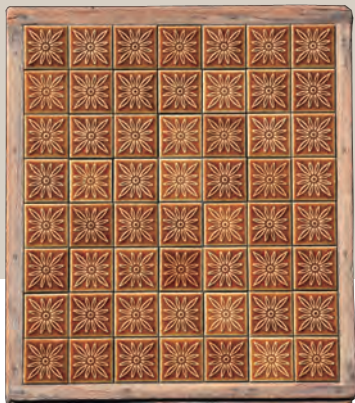
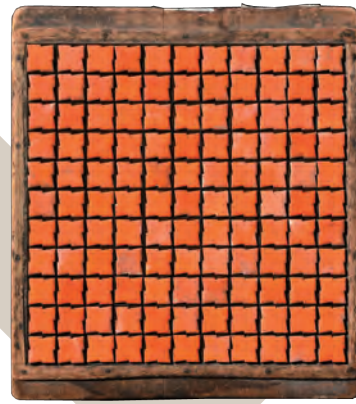
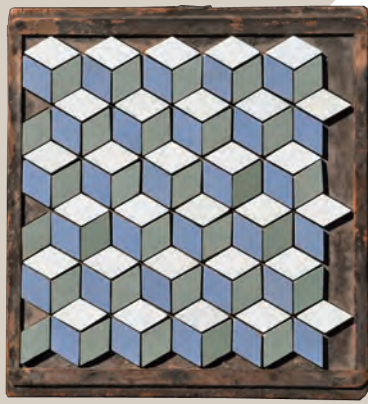


企画展
収蔵庫大公開

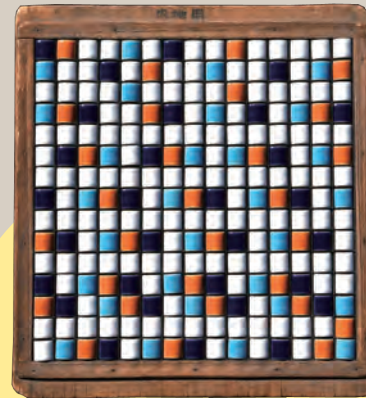
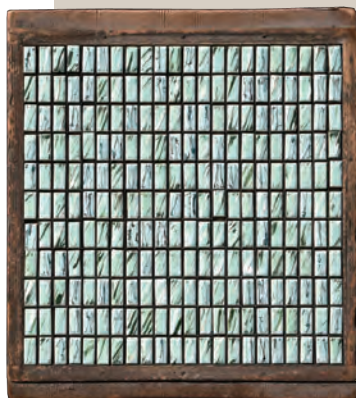
モザイクタイルの



過去・現在・未来



貼板に入れたモザイクタイル（主に戦後〜平成まで）



2024.2.3 | 土 | - 5.26 | 日 |

会場 / 多治見市モザイクタイルミュージアム 3Fギャラリー

休館日 / 月曜日（休日の場合は翌平日）、2024年12月29日～2025年1月3日

開館時間 / 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分）

観覧料 / 一般 310円、団体 250円（常設展観覧料でご覧いただけます）

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

長い時間をかけ、
心を入れて
集められてきた
タイルたち。
過去を見つめ、
今の在り方を見直し、
未来へ繋げる。



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

主催 / 多治見市モザイクタイルミュージアム

協力 / 株式会社オザワモザイクワークス、株式会社カネキ製陶所、杉浦製陶株式会社、
鈴製陶株式会社、株式会社セラメッセ、株式会社谷口製陶所、長江陶業株式会社、
名古屋モザイク工業株式会社、久松製陶株式会社、有限会社丸万商会



企画展
収蔵庫大公開

モザイクタイルの

過去・現在・未来



敷瓦（明治）



マジョリカタイル等（主に明治～戦前まで）

本館が生まれる以前、ここ笠原町には笠原町商工会・地場産業振興委員会を端緒として、タイル業界の有志が熱意をかけて収集したモザイクタイルを展示する「モザイク浪漫館」がありました。館内には各地から集まったモザイクタイルが所狭しと並び、まさにタイルの宝庫と言えるような場所でした。本館はこのような思いの詰まった収集品を基盤として誕生し、今に至っています。ここにはいったいどんなモザイクタイルが眠っているのか。長い時間をかけ、心を込めて集められてきたタイルたちを来館者の皆様の間近で鑑賞いただき、自由に感じてもらい、少しでもその魅力を届けることができれば何よりです。

またそれはタイルの歴史を考えると不可分な作業にもなります。過去見つめ、今の在り方を見直し、未来へ繋げていく。そのような趣旨から、現在活躍中の各企業の方々にも今を表すタイルを展示していただき、さらにはタイルについて思う存分語っていただくギャラリートークを開催します。それぞれの企業が展示物を目の前にモザイクタイルの歴史や秘話、自社の取り組みやこだわり、そして未来への展望など、タイルの魅力と奥深さを語り、来館者の方々と対話することができる機会となれば幸いです。

関連企画
ギャラリートーク

今こそ語ろうモザイクタイル —現代タイルの担い手たちは何を考えているのか—

（3月下旬～5月下旬まで定期的に開催予定）

本展示にご協力いただいた企業の方々のトップにお話を伺うギャラリートーク。
1社1回、計9回に及ぶリレー形式を予定しております。
本館学芸員が聞き手となりタイルにまつわる幅広い話題を熱く語っていただきます。
詳細については順次ホームページにてお知らせいたします。



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町2082番地の5
電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114
URL <http://mosaic-tile-museum.jp>

アクセス：[公共交通機関]名古屋から、JR中央本線下り、多治見・中津川方面行き、多治見駅下車。多治見駅から東鉄バス（約20分の乗車）、東草口行き、羽根行きにて、モザイクタイルミュージアム下車。
[自動車]多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分。
※駐車場は笠原中央公民館などの合同駐車場です。駐車スペースに限りがありますので公共交通機関のご利用をお勧めします。

